

2016年2月12日

各位

カルナバイオサイエンス株式会社  
代表取締役社長 吉野公一郎  
(コード：4572 JASDAQ グロース)  
<http://www.carnabio.com>

### カルナバイオ C-Lab 設立のお知らせ

カルナバイオサイエンスは、米国における先進的な大学・研究機関との共同研究をさらに推進するため、当社 100%出資の米国子会社 CarnaBio USA（本社：米国マサチューセッツ州、社長：二村晶子、以下 CBU）が、米国サウスサンフランシスコに位置するライフサイエンス・インキュベーター、Johnson & Johnson Innovation, JLABS (JLABS) @ South San Francisco (JLABS @ SSF)内に、新たに「カルナバイオ C-Lab」を開設します。

当社は、画期的新薬の開発を目指して研究開発を進めてきましたが、さらに最先端の創薬技術の開発を目指し、米国の先進的な大学・研究機関との連携を目的として、このたび「カルナバイオ C-Lab」を開設することといたしました。C-Lab には、当社、取締役研究開発本部長の澤 匡明が所長として就任し、日本及び米国の研究開発の連携を推進いたします。

当社代表取締役の吉野公一郎は次のように語っています。「このたび、米国サウスサンフランシスコに C-Lab を開設することができ、大変嬉しく思います。米国ベイエリアには、たくさんバイオベンチャーやメガファーマの研究所が集中しており、先進的な研究開発を進めるには最適な場所です。」

C-Lab 所長に就任する取締役 研究開発本部長の澤は、「C-Lab の設立で、米国における創薬及び創薬技術における最先端の情報をいち早く入手できるようになるだけでなく、ベイエリアの世界トップクラスの研究者と様々な議論が可能になり、当社の今後の創薬研究開発がさらに推進されると期待しています。」と述べております。

また、米国子会社 CBU 社長の二村晶子は、「CBU が、米国市場におけるニーズ等を C-Lab を通してフィードバックすることで、当社のオンリーワン技術が製品開発にいかされることを期待しています。」とコメントしています。

#### ■ 「カルナバイオサイエンス米国研究所 C-Lab」について

名称： 「カルナバイオ C-Lab」 (英表記： CarnaBio C-Lab)

所在地： JLABS @ South San Francisco (JLABS @ SSF), 329 Oyster Point Boulevard,  
South San Francisco, CA 94080, USA

設立日： 2016年2月12日

研究所長： 澤 匡明

研究目的： 創薬における新しい研究手法の確立

以 上